

(参考様式)

羽咋市有機農業実施計画

1. 市町村
石川県羽咋市
2. 計画対象期間
令和7年度 ～ 令和11年度
3. 対象市区町村における有機農業の現状と5年後に目指す目標
ア 有機農業の現状 世界農業遺産に認定された能登地域に位置する羽咋市では、多くの農業者が水稻を生産している。羽咋市の北東部に広がる邑知潟周辺では秋から冬にかけて、白鳥が多く飛来することで有名であり、コウノトリの飛来も見られる。羽咋市では、有機農業をはじめとした環境保全に資する農業を推進しており、早ければ令和8年度に行われるトキの放鳥を目指した取組も行っている。 市内有機栽培面積は、H27年度の4.8haからR3年度には31.4haまで増加したが、有機栽培農産物の消費拡大が課題であり、また、消費拡大と合わせて栽培技術改善による農産物の品質と収量の向上が必要である。 これまで、有機農業の課題解決のため、海外での商談会の実施および国内消費イベント、栽培技術講習会や先進地視察を実施した。
イ 5年後に目指す目標 現状値：令和4年度（策定前） 有機農業水稻生産量 44,101 kg 有機農業水稻栽培面積 16.9ha 目標値：令和11年度（計画終期の目標値） 有機農業水稻生産量 64,861 kg 有機農業水稻栽培面積 23.9ha 有機農業を推進している中、栽培技術講習会や先進地視察等を今後も実施し、生産拡大の目標値を目指していく。また、消費拡大の課題解決のために消費イベントをこれからも積極的に実施していく。
4. 取組内容
ア 有機農業の生産段階の推進の取組 ・国内販路拡大に向けた品質や収量向上を目的とした有機農業の栽培講習会を開催する。 ・有機JAS認証を推進するため認証制度の理解促進、認証に向けた技術的課題の解決のために講習会を開催する。 ・有機農業や無農薬栽培における先進地を視察し、現地圃場や農法の見学等を行

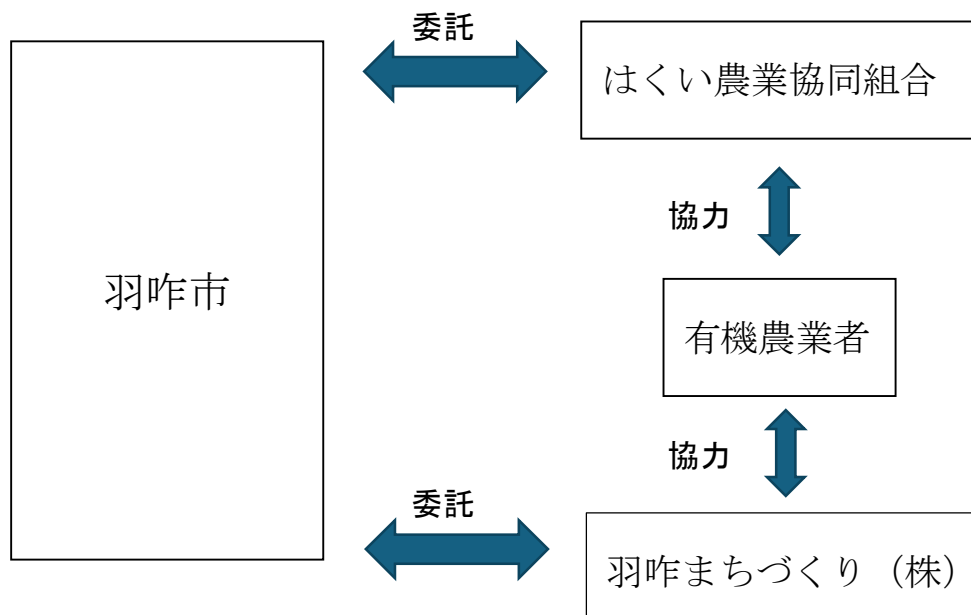
う。

イ 有機農業で生産された農産物の流通、加工、消費等の取組

- ・本市有機農産物の加工品について、県外での販売イベントへの出店と合わせてアンケート等を行い、今後の商品開発の参考とする。
- ・本市有機農業の情報発信と、消費拡大を目的として、集客が見込まれる地域で消費者向けイベントを実施する。
- ・将来の消費を担う若年層およびその保護者への理解促進を目的に学校給食等へ有機農産物を提供する。

5. 取組の推進体制

ア 実施体制図 ※実施に必要な組織、委託先等を記載



イ 関係者の役割

羽咋市

- ・検討会の開催
- ・事業実施手続き
- ・各団体への支援
- ・新規参入者への支援

はくい農業協同組合

- ・情報発信
- ・講習会および勉強会の実施
- ・新規参入者への支援
- ・国内消費イベントの開催

羽咋まちづくり（株） ・ 有機栽培農産物および加工品の提供、販売 有機農業者 ・ 有機栽培農産物の生産、規模拡大
6. 本事業以外の関連事業の概要
・ 環境保全型農業直接支払交付金事業
7. みどりの食料システム法に基づく有機農業の推進方針について
石川県環境負荷低減事業活動の促進に関する基本計画に基づき実施
8. その他（達成状況の評価、取組の周知等）
有機農業者団体および生産者からの報告および聞き取りによって評価する。

9. 資金計画

別紙のとおり

9 資金計画

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
区分	1. 生産段階 572 千円 2. 流通・加工・消費 4730 千円 3. 調査等 1514 千円	1. 生産段階 400 千円 2. 流通・加工・消費 3000 千円 3. 調査等 400 千円	1. 生産段階 400 千円 2. 流通・加工・消費 3000 千円 3. 調査等 400 千円	1. 生産段階 400 千円 2. 流通・加工・消費 3000 千円 3. 調査等 400 千円	1. 生産段階 400 千円 2. 流通・加工・消費 3000 千円 3. 調査等 400 千円